

記載例28 障害補償一時金請求書

様式第11号

障害補償一時金請求書
 障害特別支給金申請書
 障害特別援護金申請書
 障害特別給付金申請書

該当すると判断される等級

1号紙

認定番号		〇〇〇〇-〇〇〇〇	
請求(申請)年月日		令和5年7月12日	
請求(申請)者の住所		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町1-2	
フリガナ氏名		シンジユク ジロウ 新宿 次郎	
請求(申請)します。		(自署又は押印)	
1 関被する職事員項に	所属団体名	東京都	
	所属部局名	〇〇局〇〇部	
	職名	主事 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 令第1条職員	
フリガナ氏名		シンジユク ジロウ 新宿 次郎	
負傷又は発病の年月日		昭和41年2月1日生(57歳)	
治癒年月日		令和4年7月5日	
治癒年月日		令和4年12月16日	
2 障害の部位及びその程度	右眼の失明		
3 既存障害とその程度	なし		
4 障害等級	第8級第1号		
5 障害補償一時金請求金額	〔船員の場合〕 (平均給与額) (日数(ア)) (平均給与額) (日数(イ)) 15,828円 × 503 + () × () = 7,961,484円		
6 障害特別支給金 申請金額等	障害特別支給金 650,000円	傷病特別支給金の受給の有無	
	障害特別援護金 3,200,000円	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
7 障害特別給付金申請金額の計算	〔船員の場合〕 (平均給与額) (日数(ア)) (平均給与額) (日数(イ))		
	(A) $15,828 \text{円} \times 503 + () \times () \times \frac{20}{100} = 1,592,296 \text{円}$		
	(B) $1,500,000 \text{円} \times \frac{503}{365} = 2,067,123 \text{円}$		
8 障害特別給付金申請金額	1,592,296円		
9	<input type="checkbox"/> 公金受取口座を利用する		
送金希望口座等	<input checked="" type="checkbox"/> 任意の口座を指定する		
	金融機関名	〇〇銀行	本支店等名 〇〇支店
	口座番号	1234567	口座種別 <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座
	口座名義人 氏名(フリガナ) 新宿 次郎(シンジユク ジロウ)		
	<input type="checkbox"/> その他		
* 受理 (到達した年月日)	所属部局	任命権者	基金支部
	年 月 日	年 月 日	年 月 日
* 決定金額	一時金	法第30条の制限 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	* 障害等級
	特別支給金	円	第 級 第 号
	特別援護金	円	* 通知
	特別給付金	円	年 月 日
合計	円	* 支払	年 月 日

別紙「平均給与額算定書」で算定した額

銀行に届けている口座名義を正確に記入

〔注意事項〕裏面参照。